

【毎日の備えが、明日へ繋がる】

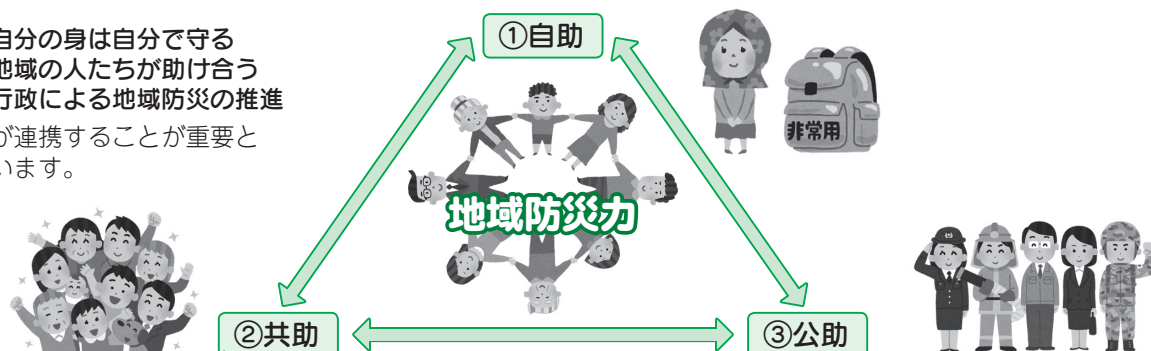
自主防災組織をつくりましょう

自主防災組織～地域住民が災害から「自分たちのまちは自分たちで守る」ために活動する組織

地震などの大規模災害が発生し、道路や電気、水道などが大きな被害を受けると、公共機関の活動能力は大幅に低下してしまいます。こうした災害のときには、皆さんが「自分の身は自分で守る」行動をとり、「自分たちのまちは自分たちで守る」意識のもとに初期消火や救出・救護、避難誘導などを行うことになります。被害の拡大を防ぐためには、近所の人たちが互いに協力しながら、防災活動に組織的に取り組むことが必要です。

● ● ● 災害が起きたとき、被害を最小限に抑えるために大切なこと ● ● ●

- ①自助：自分の身は自分で守る
 - ②共助：地域の人たちが助け合う
 - ③公助：行政による地域防災の推進
- この3つが連携することが重要といわれています。



自主防災組織

組 織 の 役 割

【普段の活動】

- ①防災知識の普及
- ②地域の災害危険箇所の把握
- ③防災訓練の実施
- ④避難行動要支援者の把握、避難場所・避難経路の確認
- ⑤防災資器材の備蓄と整理・点検

【災害時の活動】

- ①災害情報の収集及び住民への迅速な伝達
- ②出火防止と初期消火
- ③地域住民の安否確認、避難誘導、避難行動要支援者への援助
- ④給食・給水活動
- ⑤避難所運営の援助

● ● ● 組織のつくりかた ● ● ●

- ①まず話し合いを
町内会で自主防災組織の必要性などについて協議します。
- ②地域の同意を得る
町内会の総会などで自主防災組織を結成することについて同意を得ます。
- ③組織構成や規約を決める
役員や役割分担、規約を決めます。

- ④住民への周知
組織が結成されたことを、町内会の集まりや回覧板などで住民に周知します。
- ⑤町への報告
自主防災組織が設立されたら、規約を町に提出してください。

● ● ● 町 からの 支 援 ● ● ●

自主防災組織を設立した町内会は、次の制度を利用できます。

【長万部町避難所等整備事業補助金】

避難所等の機能確保に必要な次の備蓄品等を整備する場合、予算の範囲内で対象経費の2/3以内（上限額20万円、下限額10万円）の金額を補助します。

＜補助対象＞

食料、飲料水、医療品等の救急用品、毛布、寝袋、敷きマット、発電機、ストーブ等の暖房器具
避難所用間仕切り、簡易トイレ

- （例）補助対象備蓄品等を 30万円分購入 → 補助金20万円
 100万円分購入 → 補助金20万円
 15万円分購入 → 補助金10万円
 10万円分購入 → 対象外（補助額が下限額に満たないため）